

～心臓血管センターからのお知らせ～



院長 武川 裕之

心臓血管センター医師のお話③

『心不全のお話』

最近階段の上り下りや自転車こぎ、布団の上げ下げや掃除などで息が切れることはありませんか？また、就寝時や起床時だけでなく1日中顔や足がむくみ気味であることを周囲から指摘されたことはありませんか？

そのような場合、もしかすると「心不全」という状態かもしれません。

「心不全」とは、なんらかの理由により全身へ血液を送り出すための心臓のポンプ機能に異常をきたした状態です。体の血流が悪くなるため、尿量が減少して全身がむくんだり、肺に水が溜まって息苦しさや疲れを感じたりします。

心不全の原因としては、主に①心臓に栄養を送る冠動脈という血管が狭くなったり詰まったりすることによるもの(虚血性心疾患)、②心臓の筋肉そのものが異常をきたすもの(心筋症)、③心臓の弁に異常をきたすもの(心臓弁膜症)、④不整脈によるものなどが挙げられます。

心不全は原因をみつけて治療をすることで、ほとんどの方は症状の改善が期待できます。むくみや息切れ、疲れやすいなどの症状がある場合は決して我慢せず、早めに循環器内科受診をおすすめします。



「心臓カテーテル検査入院の流れ」のお話

看護部から、冠動脈造影検査を受けられる方の入院の流れについてお話します。

検査は1泊2日で行い、イラストのようなスケジュールになっています。

必要な検査は事前の外来診察時に行います。当日はカテーテル検査後に病棟入院となります。予約表に書かれた時間まで病院へ来てください。

検査当日はいつも通り食事をとって頂いてかまいません。内服は薬の種類によって検査に影響が出る場合がありますので医師の指示に従って下さい。



検査前に検査着に着替えてもらい点滴を行います。その後は検査開始まで、検査説明のDVDや雑誌を前処置室に置いてありますので、時間まで自由に過ごしてもらいます。

検査中は看護師が常にそばにいますので、何かあればすぐ言ってください。

カテーテル検査終了後病棟看護師が病室まで案内します。検査後は針を刺した所に止血のためのバンドを巻くので、検査した側の腕は安静にして検査当日は水分を多めに摂りゆっくり休んでください。

問題がなければ次の日に退院できます。

心臓カテーテル検査 (CAG) を受ける患者様へ				
氏名	院	入院当日		入院後1日目
	外来	CAG前	CAG後	CAG後1日目(退院日)
処置		処置室の選考を行います	止血のために圧迫固定を行います ※検査部血は出血しやすいので、曲げたり力を加えたりせず、安静にしてください	血圧や脈拍を測定します 圧迫固定を解除します
点滴		検査前に点滴を行います	検査終了後異常が無ければ点滴を抜きます	
検査	採血・胸部レントゲン・心電図 心臓超音波検査を行います			
薬剤	必要時薬事に関する説明があります (検査の開始で薬を止める事があります)	抗生物質の内服をします	薬の内服について看護師から説明があります	中止薬の再開説明
指導	入院説明と検査の説明をします 治療計画書・同意書を書きます		入院生活についての説明を行います	必要時薬事に関する説明があります
食事			検査後1時間経過したら食事ができます (詳しくは看護師より説明があります)	
安静度	制限はありません	制限はありません	手術・針・検査後残薬があるまでトイレ以外ベッドで安静にしてください	院内歩行可能
清潔	制限はありません	制限はありません	靴・検査当日はベッド上で安静となります。トイレ使用は出来ません 綿花ストッキングを着用します (詳しくは看護師より説明があります)	医師が圧迫固定を外した後は歩行できます
			(手番・射) 一検査当日は入浴出来ません (脚) 一検査当日は入浴出来ません	入浴できます 検査後2日目から入浴出来ます

※入院期間については現時点で予想されるものです ※脚から検査を行う患者さんはカムツを準備してください 2019年10月作成

お知らせ

次回は8月発行予定、心臓血管センター医師から『弁膜症のお話』と、診療放射線部から『心臓(冠動脈)CTのお話』予定です。

※乞うご期待ください